

医学教育年表

(昭和53年1月～昭和56年12月)

- | | | | |
|--------------|---|--------------|--|
| 53. 2. 14 | 厚生省は私立医大協会に附属病院の室料差額の改善につき協力要請 | 54. 11. 16 | の改訂作業を始める
厚生省国際医療協力等検討会（大来佐武郎座長）は、国際医療協力センターの基本的構想について中間報告をまとめ大臣に提出 |
| 53. 2 | 私立医大協会「医学教育経費の理解のために」と題するパンフレット発表 | 55. 1. 5 | 厚生省医師国家試験専門委員会五科目委員を集め出題基準の改訂を始める |
| 53. 3. 2 | 医師研修審議会（日野原重明会長）は「プライマリーケアを修得させるための方策」について意見書を厚生大臣に提出 | 55. 3 | 厚生省、ガン診療従事医師、看護婦、放射線技師、臨床検査技師の研修を策定、第1回研修生を応募 |
| 53. 7. 21～22 | 第10回日本医学教育学会、帝京大学で開催 | 55. 4 | 厚生省医療関係者審議会臨床研修部会（日野原重明会長）は臨床研修病院の指定基準の見直しについて意見書を大臣に提出 |
| 53. 9. 12 | ライフプランニングセンター主催第4回医療と教育に関する国際セミナー東京で開催、テーマ：「地域医療における健康教育と実践」 | 55. 6 | 全国自治体病院協議会はへき地医療従事者医師研修事業を発足 |
| 53. 10. 20 | 大学設置審議会（会長清水文彦）は医学系大学院に修士課程を設けて、医学部以外学部出身者を教育することを文部大臣に答申 | 55. 7 | 国立病院勤務の医師2名、プライマリー・ケア修得のためアメリカに派遣 |
| 53. 11. 9 | 医歯系大学院に医歯学部以外の卒業生を対象とした修士課程を設置する文部省令公布 | 55. 7. 11～12 | 第12回日本医学教育学会、旭川医大で開催。テーマ：Faculty Development |
| 54. 1 | 日本私立医科大学協会は54年度学生納付金一覧及び寄付金、学債募集状況を発表 | 55. 10. 6 | 医学教育振興財団主催第1回国際医学教育シンポジウム「社会的ニーズの変化と医学教育」開催 |
| 54. 3 | 文部省は大学再入学者の既修単位の一部免除について通達 | 55. 10 | 日本学術会議第80回総会において「医学教育会議（仮称）」の設置について政府に勧告することを決定 |
| 54. 4 | 財団法人医学教育振興財団発足 | 56. 1 | 日本私立医大協会56年度学生納付金一覧を発表 |
| 54. 4. 7 | 第20回日本医学会総会において「医学教育のあり方」についてシンポジウム開催 | 56. 4 | 医師国家試験問題が一部事前に漏洩した疑いをめぐる問題社会化 |
| 54. 5 | 厚生省、医療関係者審議会医師部会で国家試験の改善について検討する方針を固める | 56. 4. 28 | 日本私立医大協「医師国家試験の改善についての意見」厚生省に送付 |
| 54. 7. 15 | 大和臨床医学談話会100回記念研修会開催 | 56. 5. 22 | 文部省は私立医大の入試の公正確保するよう通達 |
| 54. 7. 20～21 | 第11回日本医学教育学会、久留米大学で開催。テーマ：「ベター・コミュニケーション」 | 56. 6. 29 | 医療関係者審議会医師部会（武内重五郎委員長）「医師国家試験の改善について」（意見書）を大臣に提出 |
| 54. 7. 24 | 文部省「昭和53年度私立大学経常費、補助金交付状況」を発表 | 56. 7. 13～14 | 第13回医学教育学会、筑波大学で開催。テーマ：「問題解決能力の学習」 |
| 54. 8. 30～31 | ライフプランニング・センター主催第5回医療と教育に関する国際セミナー開催。テーマ：「英国・カナダ及び日本におけるプライマリー・ケアと医療システム」 | 56. 9. 12 | 第6次定員削減計画（5年間で5%、文部省4,797人、厚生省2,678人）を閣議決定 |
| 54. 9 | 厚生省医師国家試験専門委員会（武内重五郎委員長）「医師国家試験の出題基準」 | 56. 11 | 厚生省「医師国家試験の出題基準（ガイドライン）」を4年ぶりに改訂発表 |